

子どものネット・ゲーム依存 について考える

参加費
無料



前園 真毅 さん

独立行政法人国立病院機構

久里浜医療センター 医療福祉相談室長

昼夜逆転や引きこもり、人間関係の悪化などの問題が生じているのに、「スマホが手放せない」「ゲームがやめられない」「課金のために借金してしまう」、、、、。

そんなネット・ゲーム依存の子どもたちが急増しています。

依存してしまうのは、「だらしない」、「意志が弱い」から？

いいえ、そうではありません。最近の研究では、依存は意志の問題ではなく、病気であり、適切な治療を受ける事が必要とされています。

そこで、日本で初めてネット依存治療を開始した久里浜医療センターより講師をお招きし、この10年間で収集し、研究してきた海外及び日本の現状を踏まえ、どのような対策や予防法が必要なのか、また、私たちが依存に苦しむ子どもたちや家族のために何ができるのか、ご講演いただきます。

2019年

6月20日(木)

午前10時30分

～午後0時30分

会場

ソレイユプラザなごや研修室

定員

40名 (定員を超える場合は抽選)

対象

市内在住・在勤・在学の方

事前申込制

(申込方法は裏面をご覧ください)

※申し込み期限

5月21日(火)まで

講師プロフィール

昭和48年生 鹿児島県出身。精神保健福祉士・社会福祉士。

平成13年 淑徳大学大学院社会福祉学博士前期課程修了。

平成13年 埼玉県入職。

埼玉県立精神医療センター、川口保健所、精神科救急情報センター勤務。

平成18年 三州病院(鹿児島市) 外来リハビリテーション部。

平成21年 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 医療福祉相談室

医療社会事業専門職 ネット依存治療研究部門 認知症治療疾患センター兼務。